

令和4年度 第2回京丹後市図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年10月20日(木) 午後2時～午後4時15分
- 2 開催場所 京丹後市役所 大宮庁舎 1階 大宮保健センター
- 3 出席者 松岡豊美委員(副会長)、増田明子委員、寺田裕美子委員、東恵美子委員、木本敦子委員、味田佳子委員、東哲委員

(事務局) 松本教育委員会教育長、引野教育委員会教育次長、安達生涯学習課課長、坪倉生涯学習課課長補佐、亀田図書館長、田辺主任

(欠席) 村上弘樹委員(会長)、伊藤慎二委員、日野竹夫委員

4 議題

報告・協議事項

- (1) 寄附(図書購入)について
- (2) 新規取組みについて
- (3) 開館時間、休館日について(アンケート結果)

その他

- (1) 京丹後市都市拠点等の在り方検討会議について
- (2) 新先進地視察研修について

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0人

《 議事経緯 》

● 開 会

事務局 図書館協議会を開催をいたします。本日ですけれども、村上会長様急な所用ということで、ご欠席となっております。また伊藤委員と日野委員様は 学校関係の公務がありまして、本日ご欠席となっておりますことを、お知らせします。

● 挨拶

事務局 それでは最初に、レジメに従いまして進めていきたいと思えます。最初は2番の会長挨拶となっておりますが、村上会長ご欠席ということで、松岡副会長様にご挨拶をお願いを致します。宜しくお願い致します。

副会長 皆様こんにちは。おつかれさまです。お聴きの通り会長さんが今日ご欠席ということですので、急遽議事の進行させていただくことになりました。昨日、事務局からお電話がありましてびっくりしまして、明日起きるのがいらんいうとったんですけどそうもいかず、ここに座っております。今日は、図書館アンケートの結果報告などもありまして、今日の協議会の委員の皆様のご意見というのがとても重要になってくるかと思えますので、みなさんの忌憚のないご意見をたくさん出して頂きたいなと思っております。でも、不慣れなものなので、事務局の方に助けていただいたり、皆様のご意見をお伺いしたりして、なんとか今日良い協議会にしていけたらと思っております。

事務局 はい、ありがとうございます。それでは次に、松本教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 皆さん、こんにちは。本日、本当にお忙しい中、本年度の第2回の図書館協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

つい最近まで本当に暑くて半袖でもいいというような陽気だったんですが、ここ数日朝晩が非常に冷え込んでまいりまして、やはりそれ相応の季節になってきたなという風に感じておるところでございます。子どもたちにとりましても新型コロナが夏以降、非常に猛威を振るっておりまして、感染者も本当に急増していた状況ではありましたが、10月に入りましてようやく落ち着いてまいりまして、1学年のみ学年閉鎖がありましたけれども、あとは概ねですねポツポツと感染者は出ているものの大きく教育活動に影響のある状況にはないということで、徐々に子ども達にとっても社会教育、学校教育において通常通りの活動ができ始めていまして、先週の土曜日は小学校中学校の駅伝京都大会も無事晴天のもとに開かれるということで、有り難く思っているところでございます。前回の1回目の時にもご挨拶させてもらいましたけれども、平田オリザ学長の芸術文化観光専門職大学、豊岡にございます学長の平田オリザ先生の講演を何度も聴かせて頂いて、

その話もさせてもらったと思いますが、昨日はですね、丹後地方の2市2町の教育委員さんが一緒にその観光専門職大学の方に実際に行かせていただいて、平田オリザ先生のお話や施設の中を見学させてもらうような研修をさせていただきました。その芸術文化観光専門職大学の図書館、図書館とは呼ばなくてですね、学術情報館と呼んでいるようですけれども、施設も見せていただきましたが本当にですね観光文化芸術の専門性の高い蔵書が大変たくさん並んでいて、外国の洋書も並ぶ中で電子書籍もあり、そして階段状になったホールとしても使えるような、そこへ座ってピアノ聞いたりとか講演を聴いたりできるような施設も揃ってありました。また今流行りの、課題解決型の学習と申しまして、図書を使い調べまとめて色々な課題を解決していこうという学習のために、課題解決学習ルームとよなものがその学術情報館の中に備え付けられていて、選んだ蔵書を持ってみんなとディスカッションして学び合える、というようなそういう施設にはなっております。見るとやっぱり今後の図書館の在り方としてはですね、やはりもちろん本を読む静かに読む、雑誌を読むというようなところもあるんですけども、そうした情報を活用して、いかに色々な課題を解決していくのかとか、考えていくのかということにおいても、その図書館とかそういう情報活用センターとしての役割は高いものがあるなという風に、感じさせていただいたところであります。今後の私たちがそうした都市拠点というお話も出ておりますけど、そういうところにも参考になるのではないかなという風に思っていたところです。以前お話ししましたように、読書とか家庭にある本の数が学力との関わりも高いと言うようなことも繰り返し言われている時代ですので、そうした意味においても、図書館、情報活用センターの役割は今後もより一層高まってくるという風に思いますので、そうしたところを踏まえてですね、今日のご協議いただけたらと思っています。本日は先ほど副会長さんからもありましたように、アンケート結果等を元にした報告ということになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

● 報告・協議事項

事務局 はい、ありがとうございます。それでは4番の報告・協議事項に移らせていただきます。

議事進行につきましては、京丹后市図書館条例施行規則の第25条におきまして、会長が議長になるとなっておりますけれども、本日村上会長様のご欠席ということになります。従いまして、同規則の第24条第2項には副会長は会長を補佐し会長に事故がある場合又は欠けた時はこれを代理する、という条文がございますので、これによりまして副会長の松岡様に議長をお願い致したいと思っております。松岡副会長よろしくお願いいたします。

副会長 それでは、4番の報告・協議事項の中の（1）寄附（図書購入）について、事務局の方で説明をお願いします。

【（1）寄附（図書購入）について 資料1の説明】

副会長 はい、それではこの件でご質問等ございませんでしょうか。

委 員 すいません、丹後図書室ですが100万円を図書購入にということだったでしょうか。50万円とどちらでしょうか。

事務局 100万円の寄付があり、その内の50万円を丹後図書室でということです。あとの50万円を中学校と小学校が寄附を受けたということです。

副会長 この丹後町の方ですが、前から寄付してくださっている方ですか。

事務局 はい、以前からご寄付を頂いてる方です。

副会長 他にございませんか。

事務局 丹後町への寄付ですが、豊淑文庫の方ではないです。また別の方から頂いていて、図書館の図書用にと寄付を割り当てて頂いたのが令和2年度からになります。

副会長 はいわかりました。他にご意見ございませんか。
それでは、（2）新規取組みについての説明を、事務局の方でお願い致します。

【（2）新規取組みについて 資料2の説明】

副会長 何か質問等ありますか。りんごの棚という、そのりんごここに書いてあるんですが、言語障害のある子供たちのために作られたおもちゃのりんごが由来って書いてありますね。

事務局 りんごの形をしたおもちゃが元々あり、視覚障害の子ども達のためのおもちゃということで、そのりんごから「りんごの棚」となったものです。京丹後市では子どもに限定した形にはしてないんですが、子どもに対してというふうに限定しているところもあります。元々は、子どもに対しての取組みから始まって、広がっていった取組みです。

副会長 他にご質問とかありませんか。京丹後の絵本とかにこうしてしてもらおうといいですね。これは久美浜高校の生徒さんが授業で点訳をされたものですか。

事務局 はい、授業の中で点訳したものです。2年間にわたって寄贈頂いて、それをいれさせていただいています。

副会長 そうですか。はい、それでは次行ってよろしいですか。
(3) 開館時間、休館日について(アンケート結果)について、事務局の方から説明をお願いします。

【(3) 開館時間、休館日について(アンケート結果) 資料3-1・2・3の説明】

副会長 はい、集計お疲れ様でした。結果をもとにそれをまた詳しく分析して数で拾ってもらったりだとか、それから入館者数は多分手でカウントしてくれたと思いますし、こうやって表とかグラフにしてもらおうととてもよくわかりまして、ありがとうございました。それでは、アンケート結果や今日の協議会での意見等によって事務局で今後の休館日とか開館時間についての運営を検討する、ということになっているようですので、ご意見を頂きたいんですけれども。まず開館時間について、いかがでしょうか。何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

開館時間についても、漠然とこう意見を出し合うだけではその個人の意見になってしまうのですが、250何人の方が答えてくださったということで、しかも6町わりと満遍なく回答があったということなので、この意見を参考にして今後にいかしていただけたらいいかなと思いますので、どうぞ皆さんのご意見聞かせください。割と9時からの開館と7時までの延長時間のこと知らなかったという結果が出ていますね。

委員 その9時からとそれか水曜日の延長というのが、やっぱりアンケート とったことによってまた知ってくださる方も増えたでしょうけれど、市の広報等でもう少し大きく何回も広報してはどうかかなと思いますね。私も5時過ぎて6時前になってから利用した時、今日は7時までだったんだわって思うこともありましたし、

やっぱりそういう方もいらっしゃると思うので。丹後庁舎の1階に図書室が移転した時にちょっとお話し聞いたことがあるのですが、勤めてる職員ですけれど、これまでは本屋さんに行かないと本は買えないし、読めないと思っていたんですけど、休憩時間だとかそれから仕事が終わってから、水曜日なんかちょっと長いこと開いているし、今気分で読みたい本が変わってきていいなあと思って、本を読む機会が前より増えたと言っておられると聞きました。それからの一般の方も、遅くまで開いているのを知っておられる方で、子供を連れて行くのにちょうどいい時間で、5時で帰ってきても子供におやつ食べさせて、それから図書館に行つて本を選んで、そしてまた帰ってからご飯を食べさせるのにちょうどいいんです、とか言っておられる方もあったので。お仕事の関係で5時や6時までに来られない方も、これからどんどん来ていただけるように周知していただくと良いかなと思います。アンケートを見ていると色々な生活のスタイルの方もいらっしゃるの、ニーズに応えるには、延長時間っていうのも大事だなと思います。

副会長 ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。

委 員 アンケートの結果だけを見ると、割と利用しないんだっていう意見が多いように思いました。それでどのタイミングでこの時間や休館日について検討して結果を出されるのかわからないんですが、これだけ見るとなんか必要ないんじゃないかな、この時間帯はとも見えるんですね。一方で、知らなかったという意見が多いということは知っていれば使ったんじゃないかっていうことで、また結果が変わってくるのかなとも考えられるんですが、図書カードに書いてあるんですけど、開館時間何時から何時と。覚えてと言われてもなかなか覚えられなくて、なかなかこれ覚えとけというのはちょっと無理だと思うので、例えば図書カードの後ろに書いてあると、ちょっと見ることができるとか、そういうことなど、もし検討の結果を出されるのを急がないのであれば、1度周知の方法を検討されてからだと結果も変わるのかなあと思ったりもしました。

副会長 はい、ありがとうございます。ごもっともなご意見ですね。そうですね、カードを作るとき、そのことは全然思っていなかったです。例えばシールみたいなものがあって、来られる方にここに貼るとかも対応のひとつかなと。

 まずその数値を見てですね、どういうふうにするのかというのは本当にはこの数値を見ていると7時まで開館というのも本当に少ないので、それをどういう風にするかっていうことも検討されてですね、時間っていうのも変則的なことなので、シールを張るのもいいかもですね。利用案内を持って歩きますからね、カードなら待っていますし、それもいいアイデアかなと今思いました。

委員 7時開館が峰山とあみのだけに限ったのことに、何か理由はあるんですか。どういう理由でこの2館になっているのかということが知りたいです。職場が多いとか理由があるとすればその意味も明確にしておいた方が、今後も公平感もありますので、考え方だけは整理しておいた方がいいと違うかな。

事務局 図書館と図書室との違いということで、図書館を7時までとしています。また合併前あみの図書館だけが週一回午後7時までとしていましたので、それを引き継ぐ形で峰山図書館と2館に広げたということです。

委員 ちょっとその辺を思うんです。蔵書の関係なり、ニュース、新聞のあたりでも英字新聞など結構読みたい人があるように思われるわけです、いろんな国際化の中で。蔵書でもあみのにあって他にはないというような部分もあるので、ある程度平均的にあるべき本は揃えるというようなこと必要ではないでしょうか。一定の利便性のこともあるでしょうし、専門的な部分ではある程度、場所場所の特色や産業構造や学生が多いとかということも、そういった地域的なことも考えて、政策的に方針をもう少し整理してもらった方がよいと思うんです。あそこへ行けばこういった本があると、整理してもらったら使いやすいと思うんです。

副会長 その辺、事務局どうでしょうか。

事務局 はい、資料のことご意見いただきまして、ありがとうございます。確かにそういうふうに政策的に特色を持って資料を整理できたら利用しやすいということ、ご意見としてありがたく思うのですが、今現在なかなかそこに至れていないのが現状です。峰山図書館は、郷土資料室として部屋を持って一番蔵書として多く持っているというところでは一つ特色として言える部分ではあるかと思うのですが、他の部分ではなかなか手をつけること出来ていない状態です。

副会長 ありがとうございます。他にありますか。

委員 もし時間の延長が他の図書室でもできるようでしたら、これから先、図書館の統合のことなどそういう方向で行こうとするならば、他の図書室久美浜や大宮、弥栄は統合の答申を出した経過もありますが、そういう水曜日は延長するという風なこと考えて、今この集計していただいたアンケートの結果ではなんか寂しい感じがするんですけれど、知る人が増えたらもうちょっと増えていくんじゃないかと思うんです。そしたら同じように条件を広げていくということどうでしょうか。

委員 すいません、図書館と図書室で時間的なこととか変えなければならないのかという私疑問があるんです。出来たら全部統一して、カード再発行すると経費がかかりますからシールを貼って、そのシールでみんな7時までですとか、10時からという風に、きちっとどの図書館・図書室もしますよとすれば、みんなが活用しやすくなって、そうなんだっていう風になりますからやっぱり統一するということが進歩すること前進することと思うんですよ。あっちもこっちもバラバラではうまいこといかないんじゃないかな、職員の方には大変迷惑かかりますけれど、それはそうして欲しいと思います。その方が徹底しやすい、広報に載せるよりもカードに貼る、そしてみんなが何時からだよ、変わったよって言う人から人へ伝わっていくと思います。是非ともそれはしてください。

委員 今見るとカードの後ろに空いているところが1CMぐらいあるんです、幅高さがね。そこにシールを印刷してもらって貼るということ、ちょっと手間ですけど、それで周知できます。図書館に行ったことがない人も、それから行こうかなと思う人も、カード持って新しく作っていいかなと思う人も、広報によって知ることができて足を運ぶことができるようになるんじゃないかと思います。よろしくをお願いします。

副会長 他にご意見ありませんか。

その利用を希望する理由、水曜日7時までの時間に利用を希望するかっていうアンケートの項目で、一番最後に大宮なら希望ってとあったりしますね。あと夏は6時だとちょっと寂しいとかそんな風な意見もあるようです。最初、あみのが7時までに決めたのはやっぱりその働いてる人が6時で閉まっちゃったら来れないけど、7時だったら帰りに寄れるからみたいなことがあったように思うんですけれども、実際、今京丹後の就労の状態で働いているお母さんたちが帰ってご飯作らないといけないとかいうこともあったりして、来れない状況があるんですかねなかなか。知らないっていうことも一つ大きな原因で、知ってたらもっと利用があったかもしれないので。毎回広報には書いてあるんです、ちゃんと全部書いてあるんです。あみのと峰山は7時までってちゃんと書いてあるんですけど、なかなかそれが見られない、開館時間ところに書いてあるんですけど、もっと周知、このアンケート結果をどのようにされるかはまだ検討だと思うんですけども、開館時間については全体であみのは何時というのではなく、パンと記事の中にこうなっていますよみたいな感じで、記事で載せるというのも一つ手かなと思います。でそれが決まってからですね、シールとかの方法を考えるのも。

委員 アンケートの集計結果を見させて頂いて初めて夏休みの9時開館を知りました。現職のときにはもう水曜日だけでも7時まで開いていて、図書館に返しに行く時間すごく余裕があったので、大変ありがたかったです。それは、だからあのこの

結果の中で、やっぱり人数が少ないからいらぬのではとなると、やっぱり本当にそれを必要としている人が排除されてしまうというか、やっぱり少数でもその時間開いていることで利用できるという、私も実際そうでしたし、水曜日今日7時までだからちょっと必要な本を借りてこようとか、自分の調べたい本を借りようとかいいことありましたので、できたら現状維持で、他にそれが適用されるかどうかはちょっとまだ検討の余地があると思いますが、それは残していただきたいなと思います。それから、夏休みの件はやっぱり知らないっていう人、私みたいに知らないって人も多し、実際利用している子はわりと固定的に利用しているのかなと思うんです。エコでもありますし、その場で学習すると家でエアコンつけるよりも随分エコですので、そういうところであの利用して学習を進めるっていうやっぱりそういう必要な層がそれぞれ時間帯によってあると思うので、ぜひ本当に終始徹底できるようにしていただいて、書いてあっても読んでいないかもしれないですけども、その辺り私も思いました。

副会長 はい ありがとうございます。いかがでしょうか。

委員 皆さんすごく暖かいお考えの方が多いなと思って聞かせて頂いていまして、私はこのアンケート結果を見た限りでは、夕方開ける必要性は低いのかなという印象を受けました。コスパとかを考えるとよっぽどの理由がない限り市民の税金を使っているの、こういう理由でやっぱり開け続けますと、こういうアンケートが出ていても開き続けるっていう理由を明示しないと、この場合は本当に図書館好きな人ばかり集まっているんですけど、私の家族では私しか利用しないので私の夫などは全く興味なく、私が利用するときについて足運ぶだったり、私がゆっくり1時間過ごせたなという間無理にいてもらうということはあるんですが、自らの足で行こうと言ったこと一度もありません。図書館を利用しない人、そういう人にとっては税金を使うということで理由を明示した方がいいんだろうなと思うんです。税金を図書の方とか文化とかスポーツとかいろんな面にいろんな人のためにお金を使うと思うんですけども、図書館も全く利用しない人もすごく多いと思うので、そういう理由が必要というようではないのかなと私は家で資料を読んで感じました。開館日とか開館時間についてはちょっと私いろんな考え方があるのではないかなと思いました。まとまらない意見で申し訳ありません。ずっとそれを考えているときに根本的に私が疑問に思っているのが、図書館行かない人は全く行かないんじゃないでしょうかね。それで図書館が目指しているところはどんなことなのかと、より多くの人に利用して欲しい本を借りてほしいのか、多くの人に居場所として使っていただきたいのか、なんか目指しているところがわからない、わからなくなってきました。私自身は本を借りるというのと居場所として使わせて頂いてる両方なんですけれども、他にも図書館が目指しているところ、教育長さんのお話もありましたけれども、多様な目的で市民の方の

何を目指しているのかというところが、こういう開館時間とか休館日とか蔵書とかどれを考えるにしても目指しているところというのがちょっと分からなくなってきておりまして、意見がまとまらなくて、そういう状況です。

副会長 ありがとうございました。図書館のあり方ということにも深く、基本的なことにも関わってくると思いますが、事務局の方いかがでしょうか。

事務局 今、図書館が目指しているもの、今ありましたように図書館まず本を借りていただくということは大きな一つの目的、目指すところになります。そのためには利用者数を増やしていくことが大切になってきます。それと同時に今ありました居場所としての図書館、答申の時にもありました、過ごす場所居場所としての図書館というのも大きな図書館の目標、目的としていくところ掲げていることになります。

副会長 ありがとうございました。その出てきた数値をどういうふうに解釈して少ないから多いからと、賛成反対の意見を聞いているわけでは決してないので、その数値をどういうふうに考えていくかっていうことだと思うんですけども。一つ質問をさせてもらっていいですか、9時から10時の間の来館者のこの表を見ておきますと、わりとどこの館も一般の人がとても多くて、目的としてはその夏休みだから子ども達が暑いし図書館早く開けあげたげたらいいのになというのが一つ目的だったように思うんですけども、一般の方がどこの館も多い、全館ですと9時から10時来館者数の計は535人ということになっています。子どもたちのことでお尋ねするんですけど、子ども達は自転車とかで、例えば網野であれば、郷や新庄の子もあみのに来れるんでしょうか。校区内とか外とかそういう縛りはないんですか。

教育長 小学校校区内となっています。先ほどの調査でも、大宮の子どもが9時からの利用が多いというのは、基本的に大宮図書室は大宮第一小の校区内ですから、大宮第一小は全小学生の5.5人に1人が第一小ですから当然自転車で来れる数が圧倒的に多い子たちがいるので、大宮の9時開館は子どもが多いんだというふうに私は思っています。結局そういうことになると、例えば久美浜町であれば久美浜小の校区の子たちは自転車で来られるけれど、あとの子は親の手助けがいる。結局そういうことになるので読書量を増やして行こうということになると、親への啓発とか地域での啓発というところも不可欠になってくるんじゃないかと思いません。

副会長 そうですね、久美浜なんか本当に離れていますもんね。広い子どもが来ることが出来る範囲っていうのは本当にあみのもあっても案外ないんです。丹後町で

すと特に本当に宇川からも来られないし、間人の中からも結構遠いのですしということを見ると、この数字の一般 っていうのは子どもおじいちゃんだったり、おばあちゃんだったりするのかなと思って見ています。でも多くの子ども達が、未就学児というのは、きっとお母さんたちが来ていると思いますし、小学生とかは自力で来てい子もいると思いますので、今教育長さんがおっしゃったように、その子どもをどうするかというより、読み聞かせもそうですが、親をいかに動かすかってことが本当に大事なんだなあということを感じました。7時まで開館についても大人のことだと思いますので、本当に知らない人が多かったってことで周知することが必要なということを感じました。

他にご意見ございませんか。はいどうぞ。

委員 すいません、今副会長さんが賛成反対は聞いてないですよと、ここであの特にどっちにしますかって決めるものでもないと思うので、もうそろそろかなと思うんですが、節電という観点とそれから最近月曜日が休みが多いのは何かありましたか、ハッピーマンデーとか今までは祝日とかが曜日がバラバラだったのに、月曜日に持ってくるみたいなこともあるのでそういう観点は検討される時にもちょっと必要なと思ったのと、委員がおっしゃったように、開館時間だけでなくてそもそも図書館の利用という話になると図書館を利用しない理由の第5位なんですよねこの時間っていうのは。なので、利用してもらおうと思うと開館時間、休館日より先にすることがもしかしたらあるのかなとは思っています。その辺り、最初に教育長おっしゃったように今その都市拠点の関係でもあの図書館の話が出ていますので、どのような位置づけというか、どのような内容のものを整理していくのかみたいなのが大切になってくるのかなと思うんですが、その都市拠点の会議にここから誰も出ておられないので、また何かのタイミングで諮問というわけではないでしょうけど、こちらの意見をそっちにも反映してもらえそうな機会があるといいなというふうに思っています。以上です。

副会長 ありがとうございます。本当におっしゃる通りです。都市拠点で中央図書館的なものがいつできるのかまだわからないですが、是非こういう意見を踏まえた上でせつかくできるのであれば計画をしていただきたい気がします。開館時間もすごく大事なことで、いろんなご意見を今お伺いしました。

委員 資料を送って頂いた中にこういう意見がものがありますね。峰山図書館は是非大きな図書館にして欲しいとか、それから図書館を開放的にさせていただくことがありがたいという風になっていますし、子どもを育てる人間を育てるにはやっぱり教育は大事ですね。図書、文学というものが、そういうものをもっと大人がこうだからじゃなくて、今からの未来ある子どもをどう育てるか、それが基本だと思います。それを抜きにして税金云々よりも、そこに観点を置いて税金を無駄に

使っているものは削除しないといけません。やっぱりそこを京丹後市がだんだんもう悲しくなってくるような状態ですから、若いものを育てるといふところにお金を使って欲しいです、私は。確かにそれと来るための足がないからあかんと、前は路線バスがあったんですかね。そして書いてありますけど、これも考えるひとつだと思ふんですよ。あかんでなくてできる方法を、大の大人が集まって話し合っていますから考えていかないとあかんと思います。やっぱり税金をうまく利用していく、変なところには使わない市長さんをお願いしてください。

副会長 はいご意見ありがとうございました。開館時間についてのご意見とか他にはございませんか。それでは次に休館日についての質問意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

これについては私はとても注目をしてきた結果でした。このままでよいというのが 208、変えた方がよいというのが 27 だったんです。かつてあみの図書館で開館して一年目ぐらいに取ったアンケートではもう本当に様々意見が出て、月曜日じゃなくてもそれぞれの希望を出されたと思うんです。けれども、あの月曜日休館が、合併して市民の方がずいぶん慣れたんだなということ、私はこの数字を見て感じました。一方、休館日はなくてもよいという意見もありますけれど、休みがあることがおかしい 365 日休館日なしというご意見もあったように思いました。また一方で、人員が増えることができれば可能であると思う、予算その他考える必要があるというふうにおっしゃってくださっている方もいて、様々なご意見があると思います。いかがでしょうか。

委員 もう随分長い間このスタイルで馴染んでいるし、数字だけで言うてはいけませんが 90%の方がもうこれに賛同して頂いているわけで、やっぱり 10%ぐらいはどんなアンケートとったっていろんな意見があるでしょうし、散髪屋さんだったら月曜日開けたらいいという風になってしまうし、これだけの方の賛同が得られているので、私はこのままでいいと思います月曜日休館は。祝日の場合は開館をしておられますよね、そういう臨機応変に市民の方が利用しやすいようにしていただいているので、おおまかの市民の方の賛同はもうこれで得られるかなと思います。

副会長 徹底してきたっていうことがあるわけですね。他の方いかがでしょうか。その結果でどこかが開いているという、どこかが月曜日も開いているといういけんも出されているようには思いますが、このあたりのご意見でも結構ですけども。今だと月曜日とそれから祝日の翌日が休館で、一日に館内整理日の時はそれは何曜日であってもお休みであって、それが祝日とか月曜日だと次の日が休館ですかね。

事務局 一日が月曜日になってくると次の火曜日は休館日、館内整理日になりますので、そこで意見の中にあつた月曜日と火曜日が続いて休みになるという状態。火曜日が整理日の時はそうなります。

委員 どこかが開いていたらというのがちょっとイメージできないです。病院とかそういうところだったら開いていないとあかんのはわかるんですが、こういうのは私自身はあんまり想定できないんです。なぜこういう意見が出るんかという感じで。そんな毎日行っているわけではないし、借りたら2週間借りられるから、ちょっとわからない、理解ができないんです。

委員 私いつかの会議の時にどこかが開いていたらいいなって言いました。今日返したい今日借りたいって思う時にどこかが開いていたら、京丹後市内なら行けますよね。行けたらいいなっていうお声を聞いたことがありました、若いお母さんで。そういうこともありますし、私も思ったこともありますので。それと、休館日って私ちょっとわからないですが、どういう業務をなさっているんでしょうか、月曜日の休館の日、館内整理日ですかね。

事務局 月曜日の休館日は職員も休んでおります。

委員 職員の方、月曜日はどなたも休み。他にお休みはないですね。

事務局 シフトを組んで勤務しておりますので、別の曜日が休みの職員もいますが、月曜日は基本全員が休みになります。

副会長 はい、他にご意見ございませんか。
また、この数値をどういう風に活かしていくか、どういうふうを考えていくかっていうのは、また検討していただくんですけども、アンケート以外にここは意見を出せる場所でもありますので、はいどうぞ。

委員 蔵書の話があるんですけど、教育長さんのお話の中すごく参考になった、課題解決型のテーマを持って、そのことを解決するための図書館行って学ぶというのが、一般的な教養とか基本的な知識とかを高めるのが大事なんですけど、そういう課題解決を通じていろんな想像力とか、これからは与えられるよりも受身積極的に自分の困難や課題の解決をしていくことを通じて一般知識も増えていける、という風な格好があると思うんですけども、いろんな京丹後市の場合には、一つは目的集団というか、このことをやって行こうという部分がありますね。相当高度な部分はなかなか図書館全部で揃えることは難しいわけですけども、京丹後市でいろんな資源が色々ある中で生かしていくべきものがあるという風にこの間

思ったのは、大宮の高校生がね水中考古学というものに本か何かで触れることがあって、そのことに関心があって丹後の場合は昔こちら日本海側が表日本で中国や大陸との交流があっているんな資源がある可能性がある、という風なことで、インターネットでその専門家探したらそれがあたって、クラウドファンディングで300万円の目標が400万円集まってお礼をして、国際的な有名な先生もそれに支援をしていくような格好で調査をやったということ、NHKのテレビでもこの間やっていましたね。久美浜の方で実際やってもらったんですけども、やっぱり若い未来のある人が、こういう本などを通じてこの丹後を愛して、これを資源を活かしていこうという、そういう潜在的な可能性を引き出す中でそれが突出した部分ではあるんですけど、こういう可能性を一つ図書館から見つけて解決するというような格好になればすごくみんなが積極的な、その時間つぶしとか憩いの場所とかいうような部分だけでなく、このなんとか今の課題を解決して行こうというようなところが大事だと思うんです。蔵書にあたってはラベルボックスとかそういうのをやるとか、それからいろいろな京丹後市のプラン計画があると思いますし、文化財の保存活用のようなことやいろいろな計画作りが各分野であると思いますし、そういうところの団体などにも今どういったものが必要ですがと問いかけるいうところもあっていいと思います。できるかできないかはお金の面もあるんですけど、やっぱりそういうニーズを把握をすれば例えば先ほど寄附の話があったんですけど、そういう京丹後市の図書館としてこういうニーズがあるというのをまとめて発信して、京丹後から出た人にもこういうニーズがあるけども財政的に大変だとか、またそれぞれの専門の本があるとか、そういう専門のところがね応援することもあるし、というようなこともあると思うんです。今NHKのテレビでやってますね、大阪の方の。あの地域でもあの釣り車があってネジがあって、そういう風ないろいろなものがあるというふうなことの中で、子供達も含めて勉強したりなんかして、そのことを通じて大きな夢も描いていこうという風なこともあるので、そういうことも動機づけとしてはやっていってはどうかと思われま。

副会長 ありがとうございます。今、委員からでた希望の本、リクエストですね。そのことについて、今もリクエストができる状態ですか。

事務局 はい、リクエスト、アンケートの意見の中にもありましたが、希望の図書ということで、リクエストという制度で購入希望の図書を受け付けるという、そういうことはさせて頂いています。その受け付けた資料を検討して購入するのかどうか、また京都府内にその資料があるかないかなどそういったことも含めて、検討させて頂いています。

副会長 そのリクエストについては、知る人ぞ知るみたいなのところがあるかも分かりませんね。開館時間とかも合わせて、そういうことができるんだっていうことを、

また広報のページは1ページ近くありますので、また載せていただくことも大事なかなと思います。

事務局 はい。

委員 アンケートにもオンラインでリクエストできたらという意見があったかなと思うんですが、具体的には図書館に行って申請書かなにかがあって書いて出す、みたいな感じですか。

事務局 はい、そうです。申し出頂いて書いていただく様式もあります。また、ホームページから入って、こんな本が買って欲しいんだけど、希望するんだけどというようなことで、ネット通してご意見をいただくこともあります。様式に限ってではなく、そういった形でも意見として拾わせては頂いております。リクエスト用のページがあるわけではなく、市の方にご意見問い合わせをメールで送ることができるようになっていきますので、そのメールを利用していただけます。

委員 京丹後市のホームページから図書館にすごく行きにくいです。トップページの一番行きやすい所にデカデカとバナーを貼って、その文化の尺度が図書館みたいな、そういう平田オリザさんの連続で教育長もおっしゃっていただいたように、ちょっと扱いが雑かなと思うので、是非とももうちょっと見やすい所に京丹後市のホームページでも。

事務局 以前も委員から、ホームページ図書館に入るのもっと分かりやすい所にといいようなご意見もいただいていたいました。

副会長 前はトップページに結構大きく確かあったんですよ。すごくちっちゃくなってね寂しかった思い出あります。でも私も知らなかったです。リクエストのコーナーがあるのを。

事務局 コーナーがあるわけではなく、問い合わせなどのメールを送れるアドレスがあり、そこから入って送っていただいています。基本的には、紙での申込みとしています。メールできたものも受け付けはしているということです。ただし、一方的なメールだと希望の本を確定したり、例えば受取館はどこにしますかなどさいどの確認が必要になってくる場合があります。でもフォームがあればそういったことがなくなるかなとちょっと今思いました。

委員 もっと、オープンにして、全体が活気づくようなまちづくりをしないと、なんか閉鎖的ですよ。

副会長 では、もうすでに入っていますけれども、アンケート結果全般についてご意見をお伺いしたいと思います。いろんなご意見が、すごくたくさんでてるなあと思って読ませてもらいました。

委 員 自由記述の部分で職員さんに対する本当に感謝の言葉がたくさんあったので、私もすごく気持ちよく読ませて頂きました。それでやっぱり学校とか子供たちもそうなんだけど、本と人を繋ぐのって絶対間に人がいますよね。子供達を本好きにするのって時間もいるし、環境も必要だけれど、手渡す大人が必ずその間にいなくちゃ子供はぜったい本好きになりませんよね、ほっといては。というふうに、それでも子供達だけじゃなくってやっぱり大人も図書館で色んな相談乗っていただいたり、気持ち良く対応していただく、職員の方大人の方がいることで、よりその図書館という空間がとても居心地のよい素敵な空間に、先ほど役割の一つに本を読むとかありましたけど、それだけではないにしてもやっぱりその場を心地よくして頂く職員さんの存在っていうのがすごくたくさん言葉にあったので、本当にあの職員さんに感謝です。日々努力をしていただいて、対応だけではなく本当に早く本が届くようにしていただいたり、本当に嬉しい言葉がたくさんあったなと思います。それで私たちもそんな風にしなくてはいけないなと思いました。本当にいい言葉がたくさんあって、私も学校に勤めていたので学校にも団体貸出しを月に40冊ずつひとクラスに、あれも選んでいただくのも大変だと思うんです。その学年に応じた内容、発達段階とか考えたりして毎月選書していただいて、取りに行かせていただくんですけどもそんなことだとか、秋のなったらブックトークやアニメーションやストーリーテリングを引っさげて授業に来ていただいたりとか、といふように学校にもそういう風にして子供たちと本をつなげていただく役割をして頂いてきましたし、今もしていただいていますし、図書館でもこんなアンケートに出てきている言葉で本当にご努力というか市民の方たちにそんな風を感じてもらっている職員さん、本当にありがたいなと思って、気持ちよく読ませて頂きました。今後ともどうぞよろしくお願いします。

副会長 ありがとうございました。他にご意見 ございませんか。

委 員 私図書館は色々な所を勉強させてもらったり、視察させていただいたりして、考え変わっております自分の中で。図書館は本を借りるところ、返したり借りてる所っていうことプラスこの何年かで生涯学習というかね、自分の可能性と人間力を深めるところだと思ふようになりました。図書といっても小説から色々ありますが、私はいい加減な、勝手なんですけど、自分のその借りる時の気分で本を選んだり、それからの孫のためにも本を絵本やら年齢に応じて選んでみたり、それはやっぱり楽しむ相手が孫だったら嬉しそう顔して聞いてるとかそういう喜

びに変わってくるという部分やら、これも自分が生きているのに楽しみをもらってなっていくね、そんな気分になる時がよくあります。今、狭いとか色々意見ありましたが、今度都市拠点が考えられていて、図書館も30年に答申した中にもありますように、生活を支えるもの人生を潤わせるもか図書館であるというね、そんなことがうたってあります。そして生きるのに張り合いが持てるというような、ちょっと希望が大きすぎるんですけど、朝開館から行って夕方までおつても大丈夫というような、そういうような時間を楽しめるような空間が出来るんだという気持ちで、答申結構時間をかけて検討しましたし、やっぱりそういう思いがあるとみんながそういう風になってくると京丹後市のさらなる先が未来が、今ちっちゃい子供達が本読んでもらったりしてるんですが、それがどういうふうに大きくなって芽が出て行くのか、今も蓄えられているとこだと思うんですよね。そういう部分で豊かになるんじゃないかなと、すごく期待しております。平田オリザ先生の話にもあったようにと図書が人間を育てるっての本当だなと思います。

副会長

ありがとうございます。図書館というのは市の文化の指標というか、そういうのは他でも言われているところだなと思います。峰山図書館のことがやっぱりたくさん書いてありましたね。建て直して欲しいとか、学習スペースが狭い、もっと開放感があればいいとか、峰山図書館のことがいっぱい出てきたなと思いましたし、今委員がおっしゃったようにその都市拠点の中で本当に実現して欲しいなと思いました。あと、6町が合併して今まだ六つがあるっていうことはとても誇りに思うべきことだなと私は思っているんですが、旧町にひとつの図書館はありがたい統合することはやめてくださいっていうそういうことを書かれる人があるんだなと思って、あのとってもあの感激して読んでいました。

他に、いろいろなことを含めて、どうぞ。

委員

さきほどもご意見ありましたが、一言言わせていただきたいのは検索・予約のシステム大変助かっています。私の周りでもすごく便利に使ってるという人がいまして、私自身も随分昔は、図書館に行って予約の本を書いて電話で来ましたよって言ってもらってという時代から利用させて頂いてますけども、その時代に比べてもすごい格段に利用のし易さがものすごくアップしているので、どんどんアップデートしてもらってますし、予約かごまでつけていただいていますので、自分が今予約がいっぱいだからまたにしようと思ってカゴに入れとけば、自分のタイミングで予約を入れることもできますし、ものすごい利用の幅が広がって、知り合いもそれで助かってるっていう事を言っていました。それは引き続きアップデートをしていただいで、利用しやすさをアップしていただければ大変ありがたいと思います。後、アンケートの中での小説に予約をかけると何ヶ月も待たなければいけないので、冊数増やして欲しいという意見載ってましたが、私はそれ逆の考え方でして、SNSのサイトがあるんですね、読書好きな人の読書メーター

などの複数のサイトがありまして、私はその中の一つのサイトに登録しているような情報得て、他の利用者の声を聞いて読んでいるんですけども、都会の方では何百人待ちだそうですね、流行りの本は。で京丹後市ではせいぜい20人とかですよ。都会の人はそういう風に待ってて1年後に来たとか、でも丹後と同じは田舎の人はすぐに来るからありがたいという風に、地方の方の方は言うておられたりしてまして、小説そういうリクエストのこと先ほどありましたけれども、流行りのものはリクエストも多いと思うんです、でもリクエストあるから買うというので、流行りの小説ばかりになってしまうので、それはどうかなと。すごい慎重に考えたほうがいいことだと思うんです。こうい意見があるからとか、リクエストが多いからということで買うのでは、ちょっと違うんじゃないかなと思ってますし、20人ぐらい待っても恵まれているほうだと私は感じてますし、都会の方の方に比べればいいと思うし、都会でもそうやって待ってますし、そこはちょっと贅沢かなと思ってますし、委員も言われた蔵書に関して、私はものすごい本当に大事な図書館の姿勢が丸見えになることだと思うので、かつてはいっぱい本屋さんがあり、本屋さんによって色が違いましたよね、そういうように京丹後市の図書館が揃えてる蔵書、市の図書館がどういう風に利用して欲しいかというのが現れるところだと思うので、リクエストも大事ですしいと思いますけれども、そういうことをベースに考えて選書していただきたいなっていうのを希望します。あとたくさん言うてすいません、本の取り扱いですね。残念に思っているのが、峰山図書館なんかはもう本当に蔵書が多いのでギッチギチに入ってるので、本好きな者としては本が可哀想と思って、ちょっと悲しい思いになります。ちょっとギッチギチなのでちょっと可哀想だし、それではこう選ぶのも選びにくいし、本も可哀想やし痛むしちょっと面出しっというんですかね、出してもらってたら、交代交代で外に出してあげたら人の目にも触れるしあのカビ臭くもならないし、そういう事を職員さんお忙しいと思うんですけども、そういう風に管理とかか本に優しくして、さらに今までも十分して頂いてると思いますけれども、それもお願ひできたらなと、すいません、たくさん言うて。

副会長 ありがとうございます。ご意見をまた反映させていただくように、願ひします。他に、はいどうぞ。

委員 このアンケートの中に私と同じこと思っらっしゃる方がいらっしゃるなと思って、峰山図書館の絵本の配架ですけども、出版社別に並べられているということが不思議でしょうがなかったんです。あみの図書館は画家さんと言うか作家さん別のあいうえお順ですね。峰山図書館は童心社とか偕成社とかそういう私ここしばらく行っないんですけど出版社別ですよ。絵本って子供が見るものだから子供は出版社で選ばないし、やっぱり自分の好きな画家さんで本を選びたいということで、どうして出版社別になっているんでしょうか。今は違っいたらご

めんなさい。でもここに書いてあるから今もそうだろうなと思って、私はそこが不思議でしょうがなかったんですけど、何かそれは意図があるのかなと。もちろん、『こどものとも』の傑作集とか福音館で、それはそのほうがいいと思うんですよ、あれはあれで。だけど画家はバラバラで作家さんバラバラで、出版社別に並んであるというのがちょっと私はわかりません。ちょっとそこ教えていただきたいです。

副会長 その辺いかがでしょうか。前からですよ。

事務局 峰山町の時代からで、今出版社別になっているのが峰山と弥栄がそうになってます。先ほど言われた、出版社別になっていると同じシリーズの本が並ぶ、その並びでから選びたい方もおられるとは思いますが、その正直言ってなぜそこを選んでしたかと言われると、結局三つだと思うんです。出版社別にするのか、絵本の文章を書いた人で並べるのか、絵を書いた人で並べるのかというところで、元々峰山町の時代、出版社でスタートしたということだと思います。

委 員 特にメリットがないのであれば、やっぱり子供が選びやすい、保護者の方も選びやすい配架にして欲しいなと思います。

事務局 メリットが全くない訳ではないと思ってはおります。

委 員 福音館の「こどものとも」が並んでいるのはバラバラなんだけどあれでいいと思うんです。けど基本はやっぱり子供が選びやすいのは書いた人の名前で、画家さんのものだと思います絵本は。

委 員 私は何も疑問にも思わずに並んでいながら『ぐりとぐら』や『すみれちゃん』という本選んで私借りるんですけど、『ぐりとぐら』がずっと並んでいていいなと思って、ぜんぜん疑問にも思うことなく選んでおります、他のものも。選ぶとかそういうのもね自由に選んだらいいと思うんですけど。

副会長 『ぐりとぐら』であれば絵を書いた人一緒なんで、著者でしても並ぶことは並ぶんです。はい、というご意見をいただきました。他にありませんか

事務局 ちょっと捕捉で。先ほどのリクエストの用紙ですが、一応、利用案内というページの予約リクエストサービスというところに PDF で申込書の様式だけはつけております。すぐに答えられずに申し訳なかったです。ですがちょっと目立たないところにあるので、また考えていきたいと思っています。

副会長 ありがとうございます。それでは他にでつくりましたでしょうか。いい忘れはないですか。
それでしたら次にその他に移りたいと思います。(1)京丹後市都市拠点等の在り方検討会議についてということで、事務局の方から説明お願い致します。

【(1)京丹後市都市拠点等の在り方検討会議についての説明】

副会長 ありがとうございます。質問等ございませんでしょうか。
はい次に(2)先進地視察研修について説明お願いします。

【(2)先進地視察研修についての説明】

副会長 視察のことについて質問ございませんでしょうか。
それでは他にご意見があれば今伺います。

委 員 すみません、この協議会からと言われまして、なんだかかわからないままに文化審議会に行かしていただきました。ちょうど10月中頃始まって先月9月30日に市長に答申 することができました。何もないところからでしたので、私もこんな場所に行かせてもらってもどうなのって感じがして凄くしんどかったんですけど、皆さんがいい意見を出されてだんだんだんだんと形になってき修正し形になってきて、事務局がとても忙しく働いてくださっていいものができました。9月30日に会長さんが市長にお渡ししてくださったという風にお聞きしておりますし、また目に触れることがありましたら見てください。

事務局 ありがとうございます。委員に文化芸術振興審議会に出させていただいておりまして、約1年関わっていただきました。今ちょうどその計画案を審議会から答申で出していただきまして、それを11月4日までパブリックコメントということで市民のみなさんからのご意見をいただく期間にしております。各市民局にも資料を置いております、またのホームページでもパブリックコメントと調べていただきましたら出てくるようになっておりますので、少しのページ数も多いですのでそういったところの資料を活用していただきまして見ていただけたらな、という風に思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

副会長 はい、それでは 他にご意見がないようでしたら議事を閉じさせていただきます。
進行を事務局にお返しします。

事務局 皆様ありがとうございました。そして副会長にも急遽議長お世話になりありが
とうございました。これをもちまして閉会とさせていただきます。

● 閉 会

事務局 すいません副会長さん、もう 1 回締めのご挨拶をいただいてよろしいでしょう
か。よろしくをお願いします。

副会長 長時間にわたり、大変お疲れ様でした。たくさんのご意見をいただき、ありが
とうございました。アンケートの結果とか協議会の今日の意見を踏まえて、図書
館の今後の運営にいかせていただきたいと思います。不慣れな進行で大変申し
訳ありませんでした。また今度視察も待っておりますので、またいろいろな図書
館の課題が今からも出てくるかと思えますけれども、この協議会の中でも役に立
つように皆で検討していきたいと思えます。今日は大変お疲れ様でした、ありが
とうございました。

事務局 はい、皆様ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第 2 回目の
図書館協議会閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。